

2 水はどこから来たのでしょうか？

東三河の水マップで場所を見つけよう！

わたしたちが使っている水道の水は、ダムの水、川の水（水源林）、地下水を水源としています。

(1) ダムの水

わたしたちのすむ豊橋市には、豊川という大きな川があります。豊川には宇連ダムや大島ダム、そしていくつかの堰があります。ダムは川をせき止めてたくさんの水を貯えることができます。川の水が少なくなったときや、水をたくさん使う季節にダムの水を流して使いますし、洪水も防いでくれます。



宇連ダム 貯水量 2,842万 m^3



大島ダム 貯水量 1,130万 m^3

ダムは大切な役割をしているんだね！



ダムの一番調べてみよう！

一番多く水を貯められるダム

日本…徳山ダム	総貯水量 6.6億 m^3	岐阜県揖斐郡 揖斐川
世界…カリバダム	総貯水量 1,806億 m^3	ジンバブエ共和国・ザンビア共和国 (アフリカ大陸の内陸部) ザンベジ川

参考

佐久間ダム	総貯水量 3.43億 m^3	愛知県・静岡県 天竜川	日本で七番
アスワンハイダム	総貯水量 1,620億 m^3	エジプト・アラブ共和国	ナイル川 世界で三番

出典元 (財)日本ダム協会「ダム年鑑2011」



「堰」とは、水の流れをとめたり調節したりするところ。
「水源」とは、水の流れ出るもと。
「洪水」とは、川の水があふれ出ること。

(2) 川の水(水源林)

豊川の水はどこから流れてくるのでしょうか。それは、森林からです。森林に降った雨は、森林の土にしみこみます。森林の土は、葉っぱや枯れた木がくさってできていて、スポンジのようにやわらかで、たくさんの水を貯えることができます。



光が入る元気な森林(枝打・間伐後)

雨水は、森林の土にゆっくりと地下にしみこんで、長い時間をかけてようやく川に流れ出します。もしかすると今飲んでいる水は、わたしたちが生まれた時に森林に降った雨水なのかもしれません。

このように、森林は降った雨を何年もかけて少しずつ川やダムにとどけてくれ、洪水も防いでくれます。だから、雨が降らない日も続いていても、豊川の水はすぐにはなくなりません。豊かな水源を守るためには、豊かな森林を守ることが必要です。

このような森林は「水源林」とか「緑のダム」とよばれています。

豊橋市をはじめ東三河の市町村が、豊川上流の「水源林」を豊かにするために、水道料金の一部を使い森づくりに取り組んでいます。

ダムと同じはたらきをする森を、みんなも育ててね!

資料提供:
NPO法人森林真剣隊



植栽

(3) 地下水

雨水は、地面にしみこみ何年もかけてきれいな地下水となります。豊橋市にはこの地下水を水道水にしている施設が9か所あります。

一度にたくさんの水を汲めませんが、ダムの水が少なくなったとき、貴重な水となっています。



下刈